

## 上田市立第三中学校



(1) 学級数 13学級

(2) 児童・生徒数 333名

(3) 職員数 33名

(4) 学校紹介

<http://www.school.umic.jp/ueda3/>

昭和22年4月1日、新学制施行と同時に上田市立北国民学校の東校舎に、上田市立第三中学校が誕生した。平成29年(2017年)には新校舎が完成し、新たな歴史が幕を開けた。

その間、守り続けてきたものがある。それは三中の目標「自主性を養う」である。あらゆる学校教育活動の場で、この学校教育目標を意識し、その具現を図ってきた。学区に生家がある山極勝三郎先生の言葉ではないが、時代が移り変わっても「意気昂然と二歩・三歩」とたゆまぬ努力を地道に進めてきた本校である。

(5) 日常的な情報機器の活用

①クロムブックの教科での活用



〈英語の授業で〉

各教科ではジャムボード等を使つての意見交流で対話的に学びを深めたり、理科では実験データをスプレッド



〈理科の授業で〉



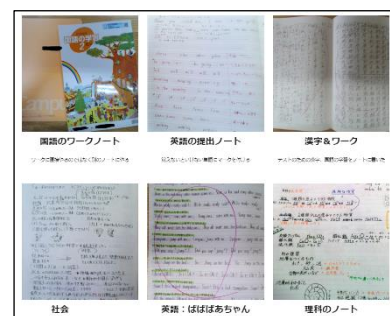
〈保体の授業で〉

シートに入力し、多くの情報から普遍性を追求したりと、クロムブックは日常の学びのツールとして位置付けている。また動画を撮影して自らの行動を省察するツールとして取り組んでいるのが保健体育科である。友と対話し、自らと対話する中でよりよい動きを主体的

に追究する姿があった。

②クロムブックの教科以外での活用

生徒各自の勉強方法を紹介し合う校内学習サイト(「まなび場」)を開設し、生徒はいつでも全校生徒の取り組みを参考に自身の学習の取り組みを見直している。



〈「まなび場」にアップロードされた学習方法〉

(6) 課題等

保健体育科では、運動の見方を育むにはどうあったらよいかを研究している。そういった研究の方向性から次のことに焦点をあてて取り組んでいきたいと模索している。

- ①視点…撮影動画を見返す際の生徒の視点はどのようなものが妥当だろうか。
- ②視座…自分たちの運動(ゲームに臨む姿)をどの立ち位置から見るのが妥当だろうか。
- ③視野…自分の動きだけでなく、仲間の動きまで含めた広い視野で意見交流するにはどうあったらよいか。

ICT機器を活用し、上記の①②③の観点で授業づくりに迫ることで「資質・能力の育成」につながるのではないかと研究を進めているところである。